

ホタテガイ養殖管理情報

水温が高い状況が長期間となっています
掃除・玉付け・分散・へい死確認を行わないでください

1 海況

海況自動観測ブイの15m層の半旬別平均水温の推移は図1、9月5日時点の陸奥湾中層（10～15m層）の日平均水温は図4（次ページ）のとおりで、ほとんどの地点で25℃を超える高水温年となっています。

また、中層で平年よりもかなり早い7月中旬に20℃に達しており、高水温期間が長期化しています。

2 養殖施設の管理について

ホタテガイ新貝および成貝は、20℃で成長が止まり、それ以降は中腸腺（ウロ）や貝柱のエネルギーを使って生命を維持します。**26℃を超えるとへい死の危険性が高まります。**26℃に達せずとも、高水温期間が長くなると、最後は**エネルギー不足でへい死**します（図2、3）。稚貝も23℃で成長が鈍化し、同様に中腸腺や貝柱のエネルギーを使って生命を維持します。

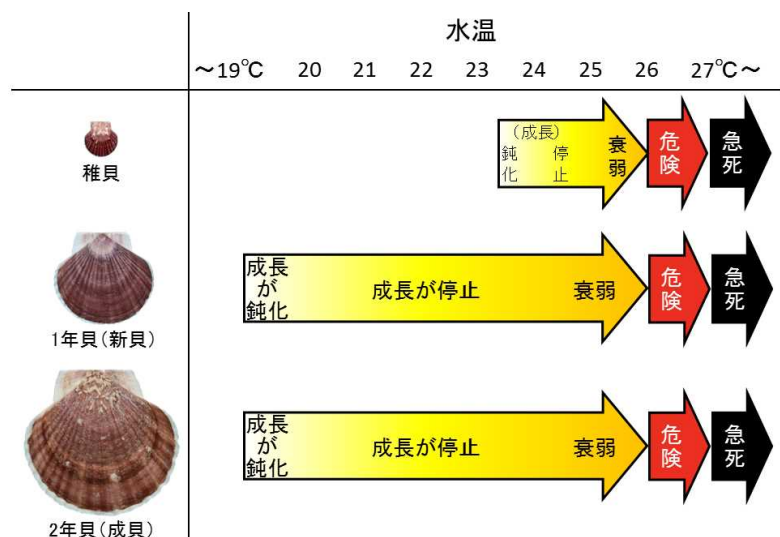


図2 貝の成長と生残率に与える水温の影響

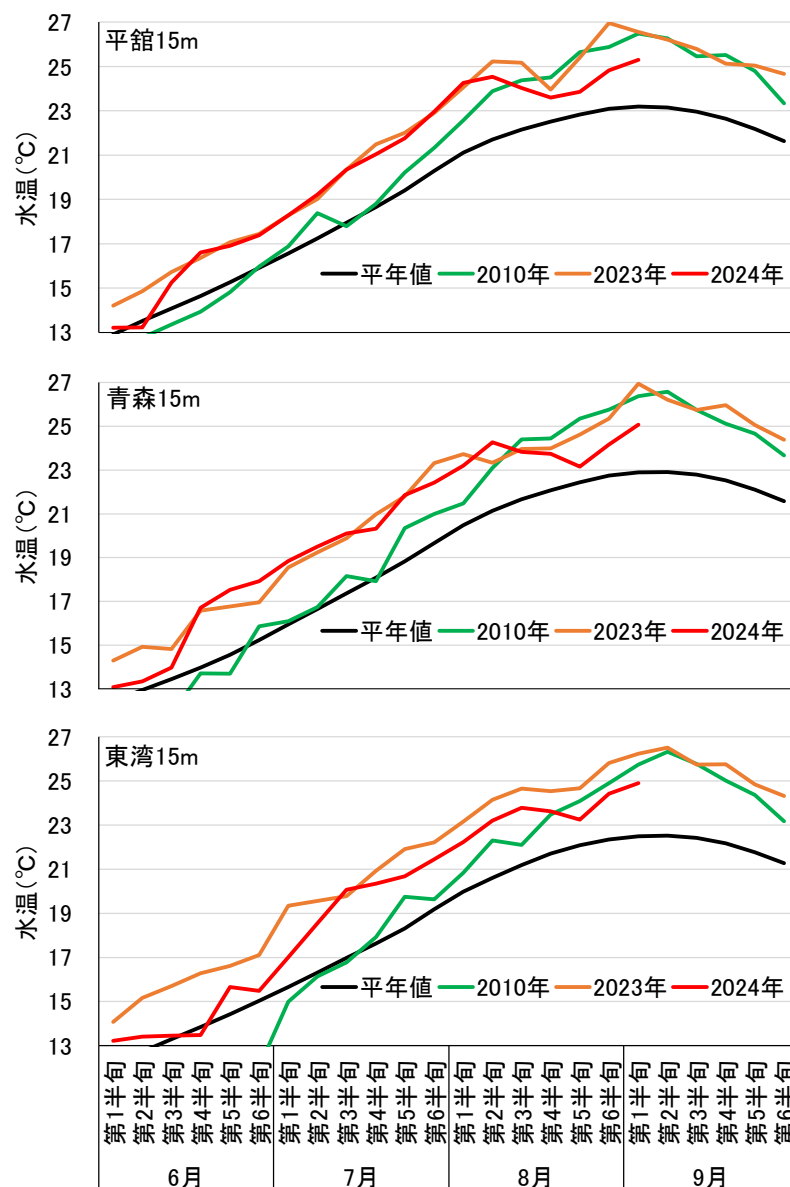


図1 海況自動観測ブイでの15m層の半旬別平均水温の推移
※暫定値を含む

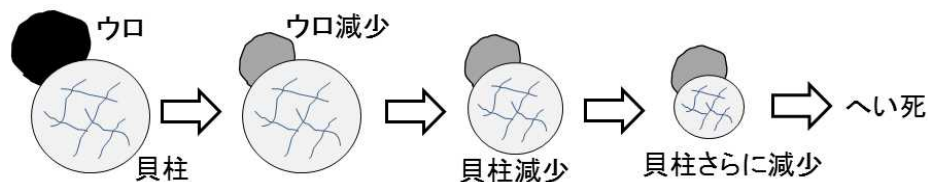


図3 高水温が続いた場合のホタテガイのへい死メカニズム

今夏の水温は、一時的に低下しましたが再び上昇し、現在はかなり高めになっています（陸奥湾海況情報No. 1504～1512）。**水温が高い状況が長く続いており、ホタテガイは疲弊**している状態です。そのような疲弊した状況で**施設の上げ下げを行うと、へい死率や異常貝率が高まる**傾向がありますので、施設を**水温の低い下層に沈めたまま安定させて動かさない**でください。また、体力の消耗を抑えるために、**玉付け、掃除、へい死確認などの作業は行わない**でください。

水温の状況は、陸奥湾海況情報や海ナビ@あおり（下記URL、QRコード）でご確認ください。



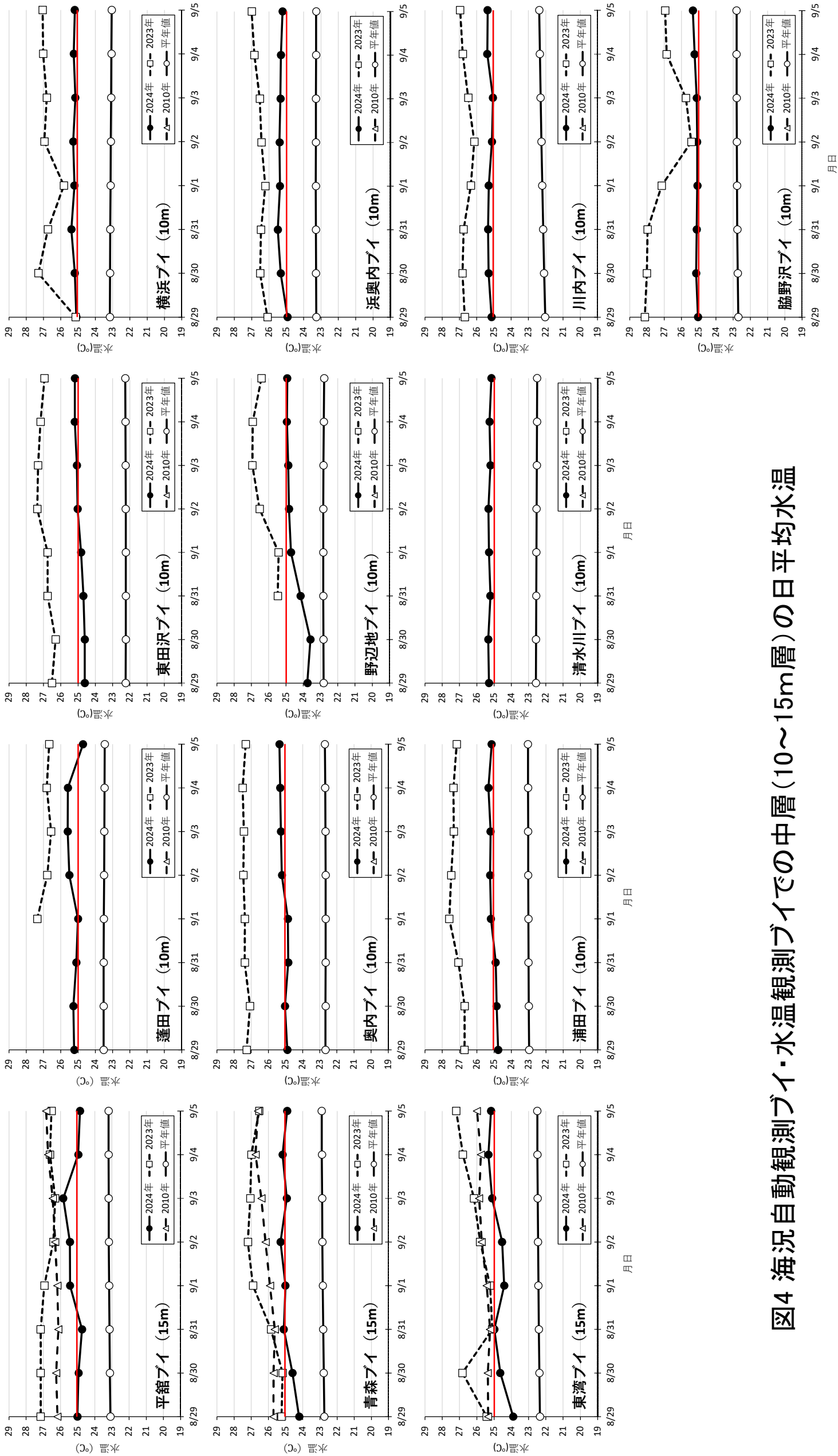


図4 海況自動観測ブイ・水温観測ブイでの中層(10~15m層)の日平均水温